

令和4年、第72回を迎える“社会を明るくする運動”のテーマは、
#生きづらさを、生きていく です。

「生きづらさを、生きていく」に込めた思い



“社会を明るくする運動”が目指す、
立ち直り支援の輪に、ぜひ、参加してください。

——立ち直ろうとする人が向かうその先に、
もっともって大きな、“生きづらさを包みこむコミュニティ”を。

一人ひとりにできることが重なりあえば、
大きなコミュニティがつくられていきます。

立ち直りを支援する人たちの活動を、応援すること。
立ち直りを応援するメッセージをフォロー・拡散すること。
そして、立ち直ろうとする人の“生きづらさ”に思いを寄せること。

立ち直ろうとする人のそばにいて、寄り添うこと。

自らの過去と向き合い、生きづらさを抱えながらも、生きていく人たち。
その姿を受け入れ、生きづらさを包摂するコミュニティが必要です。

一人ではどうにもならない“生きづらさ”があります。
犯罪や非行の背景にも、“生きづらさ”があることは少なくありません。

生きづらさに寄り添い 立ち直り を支援する方法は様々です



理解を深め
見守る

自らの過去と向き合い、
罪を償って立ち直ろうとし
ている人たちへのご理解を、
よろしくお願い致します。

寄付で
応援する

立ち直り応援基金は、
一口1000円からインタ
ーネットでも気軽に寄
付をすることが出来る仕組
みです。寄付金は、全国の
草の根の立ち直り支援活動
に大切に使われます。



立ち直れる。その思いをツナグ。

立ち直り応援基金

SNSをフォロー 拡散



法務省保護局のツイッタ
ーやInstagram等で、
立ち直り支援に関する様々
な発信を行っています。

#立ち直り
応援基金

#杜明71

#生きづらさを、生きていく。

イベントに参加する



全国では、7月の強調月
間を中心に、“社会を明る
くする運動”の様々なイベ
ントや広報活動、シンポジ
ウムが行われています。お
住まいの地域のイベントに、
ぜひご参加ください。

立ち直りを支援する
担い手になる

立ち直りを
一番近くで見守る
保護司

保護司は、犯罪や非行を
した人の立ち直りを地域で
支えるボランティアです。
地域の事情などをよく理解
し、保護観察官と協働して、
保護観察を受けている人に
面接を通じた助言や指導を
行い、受刑者等が社会復帰
する環境への働き掛けなど
も行っていきます。全国に約
4万7000人います。



「就労」と「見守り」の
両方を担う
協力雇用主

犯罪や非行をした人の立
ち直りには、働くことが大
変重要です。協力雇用主は、
犯罪や非行をした人の自立
や社会復帰に協力すること
を目的として、彼らを雇用
しようとする事業主です。
全国に約2万5000事業
者がいます。



社会復帰する人の
居場所をつくる

更生保護施設

更生保護施設は、刑務所
などを出た後、帰る場所が
ない人たちに宿泊場所や食
事を提供し、自立に向けた
指導や援助を行う民間の施
設です。自立準備ホームは、
更生保護施設以外に宿泊場
所を提供するNPO法人等
が営む施設です。

地域のことを
ほっとけない

更生保護女性会

更生保護女性会は、地域
の犯罪予防活動や更生支援
を行う女性のボランティア
です。非行問題を考えるミ
ニ集会のほか、子育て支援
活動など、多様な活動をし
ています。全国に14万人い
ます。

若い人の視点で
立ち直り支援に参加
BBS会

様々な問題を抱える少年
たちと、兄や姉のように身
近な立場で接することで、
少年たちの成長を助ける青
年ボランティアです。全国
に約4500人います。